

当初予算編成の考え方と予算規模

1 平成19年度(2007年度)当初予算編成の考え方

平成19年度(2007年度)当初予算は、平成19年(2007年)2月に市長の任期が満了することを踏まえ、市政の政策的な方向付けは新たな市民の負託のもとに行われるべきとの考え方に立ち、義務的経費を中心とした骨格予算として編成した。

なお、特に今回は、市長の任期満了直前の予算審議となった点も考慮し、普通建設事業費などの政策予算に関しては、継続事業であっても可能な限り当初予算での計上を見送っている。

2 典型的に当初予算に計上した経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)

施設の管理運営費

災害復旧関連経費・予備費

その他の経常的経費(法定事務、内部管理経費など)

3 上記以外の経費で当初予算に計上した経費

公益法人等への派遣職員人件費補助、過年度整備分の企業債償還に係る繰出金など、上記の類型に準ずる経費

継続的に実施している事業で、年度当初から支出が必要となるなど、6月補正では著しい支障がある経費

新規・拡充事業のうち以下に該当する経費

- ・ 国の制度改正等に伴い年度当初から実施すべき事業に係る経費
- ・ 県からの事務移譲に係る経費(平成19年度移譲分)
- ・ 事業としての継続性の観点で年度当初から実施すべき事業に係る経費
- ・ その他6月補正では間に合わない事業に係る経費

4 予算規模

全会計 1兆1,475億8,053万2千円 (対前年度当初予算 0.8%)
 一般会計 5,242億3,302万2千円 (対前年度当初予算 2.6%)

(単位：%)

区分	平成19年度(2007年度) 当初予算額 (A)	平成18年度(2006年度) 当初予算額 (B)	差引 (A)-(B)	伸率
一般会計	5,242億3,302万2千円	5,381億6,990万9千円	139億3,688万7千円	2.6
特別会計	4,470億 882万円	4,407億 775万6千円	63億 106万4千円	1.4
企業会計	1,763億3,869万円	1,783億7,636万2千円	20億3,767万2千円	1.1
全会計	1兆1,475億8,053万2千円	1兆1,572億5,402万7千円	96億7,349万5千円	0.8

- 一般会計の当初予算規模は 対前年度 2.6%で、2年連続のプラス予算からマイナス予算に転じた。
(H18 0.9%、H17 0.2%、H16 2.6%、H15 3.0%、H14 4.4%、H13 1.6%、H12 1.5%)
- 特別会計については、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計の増などにより、対前年度 1.4%の伸びとなった。
- 企業会計については、下水道事業会計の減などにより、対前年度 1.1%となった。
- 全会計の予算規模は 対前年度 0.8%で、2年連続のプラス予算からマイナス予算に転じた。
(H18 0.8%、H17 2.0%、H16 1.3%、H15 0.9%、H14 0.8%、H13 0.1%、H12 2.0%)

(参考) 当初予算伸び率の推移

(単位：%)

区分	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	
広島市	一般会計	2.6	0.9	0.2	2.6	3.0	4.4	1.6	1.5
国	一般会計	4.0	3.0	0.1	0.4	0.7	1.7	2.7	3.8
	地方交付金	1.3	1.9	0.7	0.1	0.1	2.3	1.2	2.6
地方財政計画	0.0	0.7	1.1	1.8	1.5	1.9	0.4	0.5	